令和５年７月１５日（土）日本海新聞（但馬）

２回戦・浜坂―福崎　浜坂は一回、岡野が左前打でチーム初出塁＝14日、高砂市の高砂球場

# 好機でつながらず

## 浜坂

▽２回戦

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 浜坂 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 福崎 | 2 | 0 | 2 | 0 | 3 | 3× | | | | 10 |

（六回コールド）

▽三塁打　大竹（福）▽二塁打　鎌谷、大竹、浦岡（福）

㊥…浜坂は守備の弱さが目立ち、福崎の勢いを止めることができなかった。

初回、岡野が左前打で出塁して先制の機会をつくったが、後続が倒れた。４点を追う五回には山本が右前打を放って出塁するも、再び好機を生かせず、本塁を踏むことはできなかった。

投手陣は先発の吉田に加え、岡野、小林壮を投入して相手打線に立ち向かったが、五、六回に計６点を失い、さらに点差を広げる結果となった。

## 感謝の気持ちいっぱい

### 小林陸主将、後輩にエール

２、３年生10人に１年生８人が加わり、18人で挑んだ夏。しかし、相手に食らいつくことができず、５年ぶりの初戦突破はかなわなかった。試合後、小林陸主将は「あと１アウト取れば、このボールを取れば、というところで取り切れず、大量失点につながった」と悔し涙を拭った。

新チーム発足後、公式戦では１勝もできず、苦戦続きだった。そんな中でも、バッティング練習に励み、冬季はウエートトレーニングで体力づくりに取り組んだ。５月の但馬総体で初優勝し、自信を深めて臨んだ試合だったが、終始、苦戦を強いられた。

小林主将は「今までついてきてくれた皆に感謝の気持ちでいっぱい。１、２年生には僕たちが目標にしていた（夏での）勝利を達成してもらいたい」とエールを送った。

陰山監督は「もっと食らいつけたはず。守備が淡泊過ぎた」と唇をかむ。その上で「３年生は本当に頑張ってくれた。彼らの思いを１、２年生が感じて、チーム一丸で粘り強い野球ができれば」と話した。

（井上雅大）

福崎10―０浜坂

【浜坂】

| | | 打 | 安 | 点 |
|---|---|---|---|---|
| ④ | 楠田 | 2 | 0 | 0 |
| ⑦ | 田中 | 3 | 0 | 0 |
| ⑤16 | 岡野 | 3 | 1 | 0 |
| ⑧ | 小林陸 | 2 | 0 | 0 |
| ⑥1 | 小林壮 | 2 | 0 | 0 |
| ③ | 塩川 | 1 | 0 | 0 |
| ① | 吉田 | 1 | 0 | 0 |
| 5 | 山崎 | 1 | 0 | 0 |
| ⑨ | 松内 | 2 | 0 | 0 |
| ② | 山本 | 2 | 1 | 0 |
| | 計 | 19 | 2 | 0 |

【福崎】

| | | 打 | 安 | 点 |
|---|---|---|---|---|
| ② | 橋本 | 3 | 0 | 0 |
| ④ | 粟根 | 3 | 2 | 0 |
| ⑦ | 滑原 | 2 | 2 | 0 |
| ⑤ | 大竹 | 3 | 2 | 2 |
| ③ | 花円 | 3 | 3 | 6 |
| ⑨ | 浦岡 | 3 | 1 | 1 |
| ⑥ | 春木 | 3 | 1 | 0 |
| ① | 宮本 | 3 | 0 | 0 |
| ⑧ | 鎌谷 | 3 | 1 | 0 |
| | 計 | 26 | 12 | 9 |

TEL(0796)36-0215